令和7年度(第35期)
事業計画及び予算

株式会社 銚子マリーナ

令和7年度（第35期）事業計画

株式会社銚子マリーナ

項 目	内 容
銚子マリーナ 事業計画の概要	<p>当マリーナは、平成11年4月の開業以来、マリーナの利用者をはじめ、当施設や周辺地域を活用した各種イベントなどの展開を通じて、多くの来訪者、市民に親しまれ、本市観光拠点の一つとして重要な役割を果たしてきました。</p> <p>平成25年4月のリニューアルオープン以降の保管契約艇数は、平成29年度末までは緩やかな増加傾向にありましたが、平成30年度末は8艇減の113艇となり、令和元年度末は増減なしの横這い状態でした。</p> <p>その後、令和2年度以降は再び増加傾向に転じ、令和6年度末には、リニューアル前の契約艇数である平成22年度末の163艇まで回復したところであり、今後も引き続き集艇活動に尽力してまいります。</p> <p>また、契約艇数の増加に伴い、安全航行のアナウンス、事故防止につながる機関整備の促進を図ってまいります。</p> <p>令和7年度は、集艇活動の継続、並びに海洋レジャーの啓発に繋がる広告宣伝、若年層へのアプローチ等を積極的に発信してまいります。併せまして、マリーナ利用者の永続的な契約を目指し、安全・安心・快適なマリンライフを念頭に施設及び設備のメンテナンスに注力し、更なるサービスの向上に取り組んでまいります。</p> <p>マリンレジャーの普及に努め、風光明媚なロケーションを生かし、観光拠点として関係機関と連携・協力しながら事業を進めてまいります。</p>

令和7年度（第35期）予算

〔 令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで 〕

株式会社 銚子マリーナ
(単位：円)

勘定科目	金額	備考
売上高	100,071,000	
利用料売上	62,995,000	艇置場利用料・施設利用料・臨時利用料・上下架利用料
その他利用料売上	2,476,000	船台使用料・レンタル艇利用料 ほか
燃料売上	9,200,000	
修理売上	9,500,000	
部品・用品売上	15,900,000	
売上原価	26,745,000	
燃料売上	6,900,000	
修理売上	7,125,000	
部品・用品売上	12,720,000	
売上総利益	73,326,000	
販売促進費計	1,332,000	
交際費	150,000	慶弔費等
広告宣伝費	650,000	雑誌等広告料 ほか
諸会費	272,000	銚子市観光協会年会費、日本マリン事業協会費 ほか
サービス料	200,000	
運送費	60,000	配送料 ほか
人件費計	34,455,000	
給与・諸手当	16,800,000	在籍従業員4名
賞与	4,400,000	
法定福利費	5,210,000	健康保険料、厚生年金保険料、労災保険料 ほか
厚生費	795,000	健康診断・退職保険 ほか
雑給	7,250,000	アルバイト人件費（4名在籍）
一般管理費計	35,055,000	
旅費交通費	900,000	
雑費	850,000	官報掲載料、登記手数料、その他事務所維持費
水道光熱費	5,400,000	電気、ガス、水道料金
業務委託費	1,000,000	決算申請手数料、弁護士費用 ほか
リースレンタル料	635,000	社用車リース料他
事務用消耗品費	150,000	
消耗工具備品費	1,440,000	
維持管理費	7,700,000	保守管理費、電気保安手数料、巡回・機械警備業務委託費
修繕費	3,000,000	トラベリフトメンテナンス ほか
通信費	1,030,000	電話料、専用回線使用料
保険料	2,110,000	所有物件・船舶保険料、損害賠償保険料 ほか
減価償却費	9,600,000	トラベリフト ほか
図書研修費	150,000	研修費用ほか
租税公課	1,090,000	固定資産税、印紙税、預金利子税 ほか
経費合計	70,842,000	
営業利益	2,484,000	
営業外収益	3,800,000	公園管理料他
営業外支出	2,317,000	寄付金
経常利益	3,967,000	